

# ベトナム赤十字社の 災害対策事業を見学

日赤埼玉県支部を含む北関東四県支部（茨城・栃木・群馬・埼玉）は、毎年それぞれの県支部から100万円を拠出、合計400万円をベトナム赤十字社が行っている災害対策事業に資金協力していることから、実際にこの事業が現地の災害対策の向上に寄与している状況を理解・認識することを目的にベトナム赤十字社を訪問しております。

今年度は、各県支部の赤十字奉仕団員（ボランティア）12名と支部職員3名が、平成25年10月22日（火）～27日（日）の5泊6日の日程でベトナムを訪れました。

ベトナムでは、災害対策で海岸沿いに植林されたマングローブ林の見学や、地元小学校における防災教育の様子を見学しました。

参加した奉仕団員からは、「マングローブ林がベトナムにおける災害を軽減するのにこれほど役立っているとは知りませんでした。」「日赤が支援している資金が、小学校で使用されている防災教育の教科書作成費用となっていること。災害の恐ろしさ、防災の大切さを熱心に教育していることに感銘を受けました。」との感想が多く聞かれました。



小学校を訪問、歓迎の歌を歌ってくれました。



船上からマングローブの生育状況を見学

ようこそ埼玉へ!

# ネパール赤十字社 JRC/RCYメンバー来日



JRC高校生メンバーと記念写真

埼玉県支部では、10月25日～29日の日程で、JRC/RCY\*メンバーと指導者を含む6名をネパールから招待し、姉妹赤十字社との親善を図りました。

「ナマステ おはようございます」お互いに一日の始まりは、この挨拶から始まります。

滞在中は、JRCメンバー宅などでのホームステイ、さいたま赤十字看護専門学校訪問交流、埼玉県支部においてJRC高校生メンバーとの交歓会を行いました。

交歓会では、お互いの文化やJRC/RCY活動についての発表をはじめ、じゃんけんゲーム、ネパールの民族舞踊の披露など、青少年赤十字の実践目標「国際理解・親善」のよき体験の場となりました。昼食は、非常食の体験試食を兼ねて、アルファ米によるライスボール（おにぎり）をみんなで握り、食べました。

埼玉県支部では、平成18年度からネパール赤十字社の青少年赤十字教育等支援事業に参加しており、教育・健康・衛生環境の改善を支援しています。



いっしょに非常食を作りました。

\*JRC/RCY: Junior Red Cross の略、青少年赤十字 Red Cross Youthの略、JRCの別称